



「研究都市」こおりやまで進む 産業イノベーション

再エネ

国立研究開発法人産業技術総合研究所
福島再生可能エネルギー研究所 (FREIA)



- 政府の東日本大震災からの復興の基本方針により、2014年に産総研の新たな研究開発拠点として郡山西部第二工業団地内に開所
- 再生可能エネルギーに関する国内唯一の国立研究機関
- 国内最大級の電波暗室をはじめ、共同研究および認証試験で利用できる大型試験システムを導入

【主な研究内容】

エネルギーネットワーク、水素、風力、太陽光、地熱、地中熱等



電波暗室



©: 国立研究開発法人産業技術総合研究所

国際都市間交流を推進しています

郡山市は、エネルギーやヘルスケア産業におけるヨーロッパ最大規模の産業集積地であるドイツのエッセン市と、再生可能エネルギー、医療機器関連産業、教育と次世代の人材育成の分野で覚書を締結し、都市間交流に取り組んでいます。

また、タイのランシット大学との医療福祉関連製品や健康関連食品、教育分野での連携協定締結（予定）により、大学やタイの企業、研究機関との連携など、事業者の販路拡大を支援します。



エッセン市との覚書締結の様子

医療

ふくしま医療機器
開発支援センター



- 2016年、市内富田町に開所
- 医療機器の開発から事業化までを一体的に支援する国内初の施設

【センターの機能】

安全性評価試験、マッチング、人材育成・トレーニング、コンサルティング

福島県は国内屈指の「医療機器生産県」！



医療用機械器具の
部品等出荷金額
(2021)

全国
第1位

医療機器
生産金額
(2022)

全国
第3位



郡山市は、ふくしま医療機器開発支援センターと連携し、ものづくり企業の医療関連製品の開発を支援しています。

郡山市内企業の製品開発事例(内視鏡用マウスピース)▶



化学

明治初期に通水した安積疏水は、水力発電による豊富な電気を紡績・化学工場へ供給し、郡山の産業を支えています。



主な立地企業



1916年立地

保土谷化学工業株式会社郡山工場
過酸化水素・誘導体、電子材料などの製造工場



1919年立地

日本化学工業株式会社 福島第一工場
積層セラミックコンデンサー用誘電体材料、その他電子部品向け材料の製造工場



1923年立地

日東紡 富久山事業センター
ガラス繊維製品・メディカル製品等の製造工場、総合研究所



1951年立地

新日本電工株式会社 郡山工場
排水の循環再利用及び有価物回収、純水製造他におけるイオン交換樹脂の再生工場